

平成22年度学校保健統計調査結果の概要

学校保健統計調査（基幹統計調査）は、文部科学省が、我が国における幼児・児童および生徒の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るため、毎年実施しているものです。

この概要は、平成22年度の滋賀県分の結果を取りまとめたものです。

1（傾向）（図1～3）

身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。

2（全国との比較）（図4～6）

男子の身長は、12歳以外は全国平均値を同じか上回っています。15歳で全国第3位となっています。体重は、いずれの学年も全国平均値を下回っています。

座高は、12歳以外は全国平均値を同じか上回っています。16歳および17歳で全国第3位です。

女子は、身長および座高は、12歳からいずれの学年も全国平均値を上回っています。14歳身長が全国第4位です。体重は、いずれの学年も全国平均値を同じか下回っています。

3（「親の世代」との比較）（図7・8）

平成22年度の調査結果を、30年前の昭和55年度（親の世代）の調査結果と比較してみると、ほとんどの年齢で数値が上回っていますが、女子の体重が14歳からは親の世代を下回っています。

このうち、30年前の体格との差が最も大きい年齢をみると、男子については、13歳で身長が3.0cm、体重が2.7kgの差になっています。

女子については、身長が10歳で1.8cm、体重が8歳で1.4kgの差になっています。

4（主な疾病・異常）（図9～12）

「むし歯（う歯）」の人の割合は、すべての学校種別で前年度より減少し、平成20年度からは、低下傾向にあります。

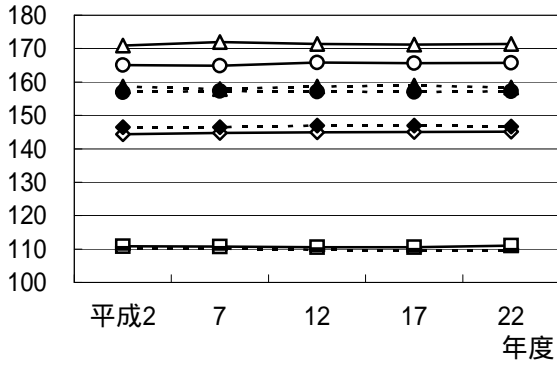
「耳疾患」、「鼻・副鼻腔疾患」、「蛋白検出の者」および「ぜん息」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値より低くなっています。また、「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、小・中学校で全国平均値より低くなっています。

発育状態

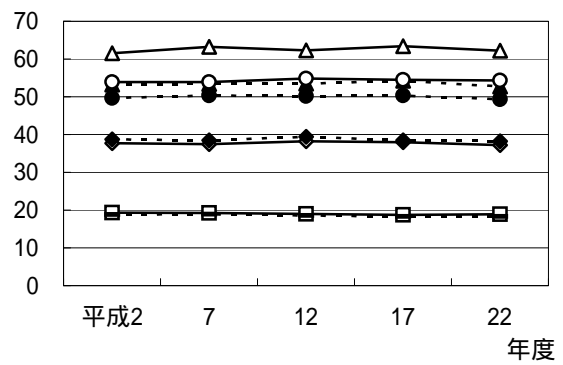
1. 体格の県平均値の推移 (図1～3)

体格の本県平均値の推移を見ると、身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。

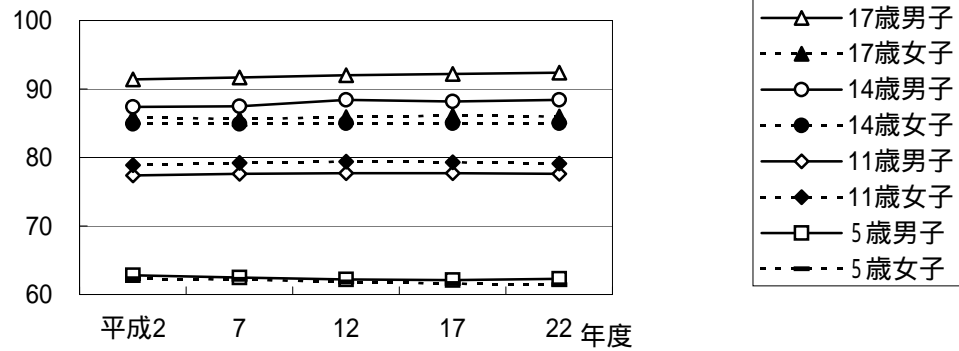
cm 図1 身長の平均値の推移



kg 図2 体重の平均値の推移



cm 図3 座高の平均値の推移



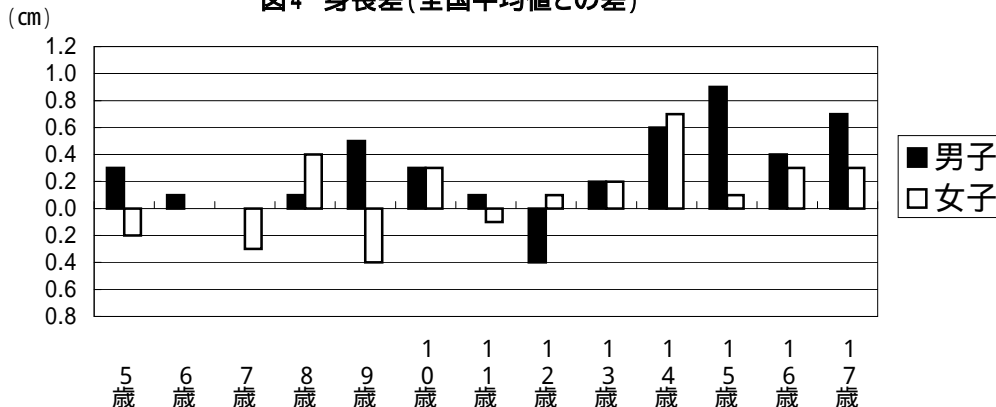
2. 体格の全国平均値との比較 (図4～6)

(1) 平均身長

男子は12歳で全国平均値を下回っていますが、それ以外の各年齢では同じか上回っています。女子は5歳、7歳、9歳、11歳で全国平均値を下回り、それ以外の各年齢では同じかまたは上回っています。

なお、都道府県別では、15歳男子が169.1cmで全国第3位になり、14歳女子が157.2cmで全国第4位になっています。

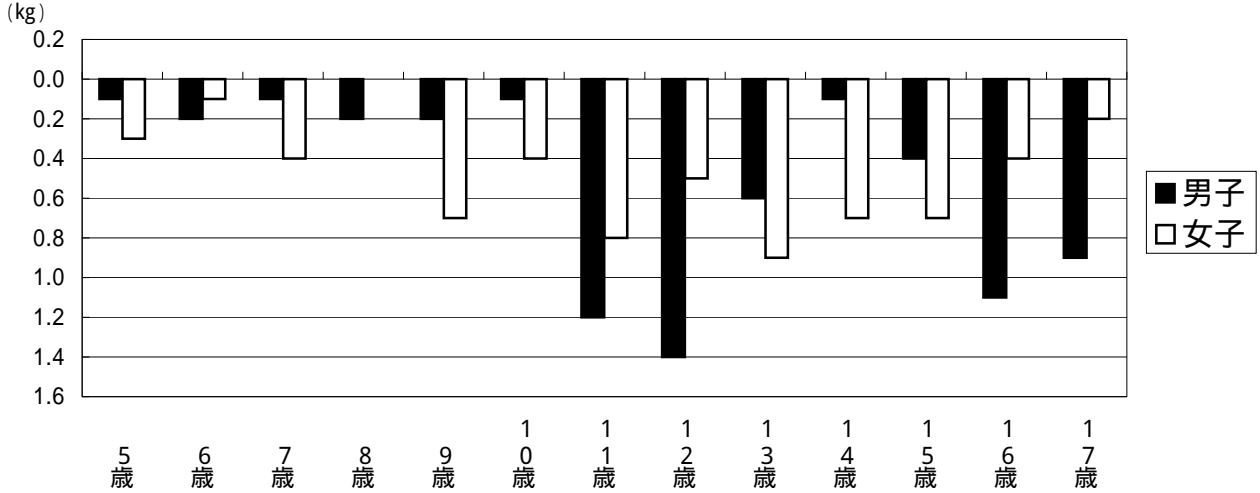
図4 身長差(全国平均値との差)



(2) 平均体重

男子は、いずれの年齢でも、全国平均値を下回っています。女子は、いずれの年齢でも全国平均値と同じかまたは下回っています。

図5 体重差(全国平均値との差)

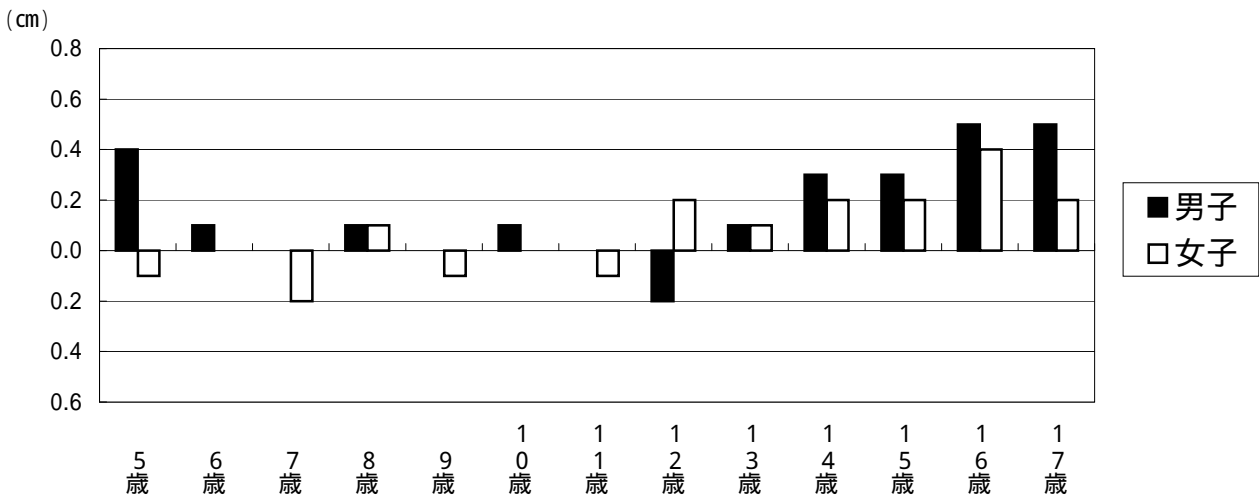


(3) 平均座高

男子は12歳で全国平均値を下回っていますが、それ以外の各年齢では同じかまたは上回っています。女子は5歳、7歳、9歳、11歳で全国平均値を下回っていますが、それ以外の各年齢では、同じかまたは上回っています。

なお、都道府県別では、16歳、17歳男子で全国第3位になっています。

図6 座高差(全国平均値との差)



3. 30年前の昭和55年度（親の世代）の体格との比較（図7・8）

平成22年度の調査結果を、30年前の昭和55年度（親の世代）の調査結果と比較してみると、身長、体重は、ほとんどの年齢で「親の世代」の県平均値を上回っていますが、女子の体重が14歳からは親の世代を下回っています。

このうち、30年前との体格との差が最も大きい年齢をみると、男子では、13歳で身長が3.0cm、体重が2.7kgの差になっています。女子では、身長が10歳で1.8cm、体重が8歳で1.4kgの差になっています。

平成22年度と昭和55年度の年齢別体格差グラフ（昭和55年度を「0」としたときの増減）

図7 身長差

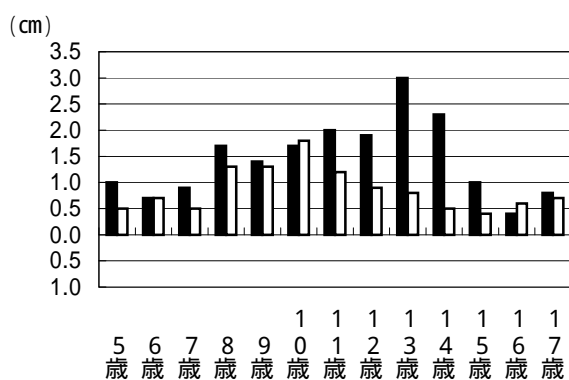
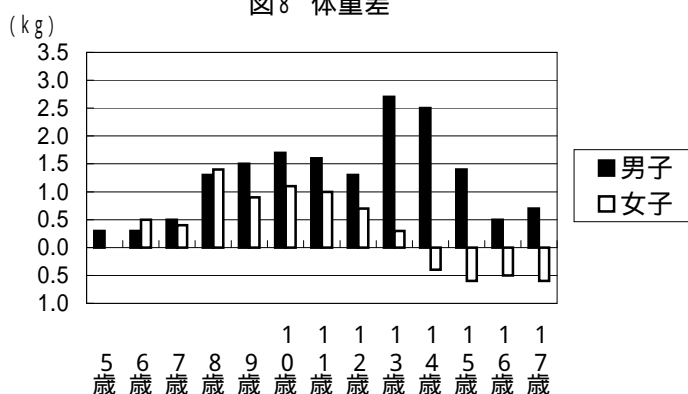


図8 体重差



健康状態

1. 主な疾病・異常の被患率等（男女計）（図9～12）

「むし歯」の人の割合は、幼稚園が43.1%、小学校が59.2%、中学校が50.0%、高等学校が62.2%となっており、これを前年度の割合と比較すると、すべての学校種別で減少し、平成20年度からは低下傾向にあります。

「耳疾患」、「鼻・副鼻腔疾患」、「蛋白検出の者」および「ぜん息」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値より低くなっています。また、「裸眼視力1.0未満」の人の割合は小学校26.9%、中学校44.0%で全国平均値より低くなっています。

図9 本年度と前年度との差(むし歯)

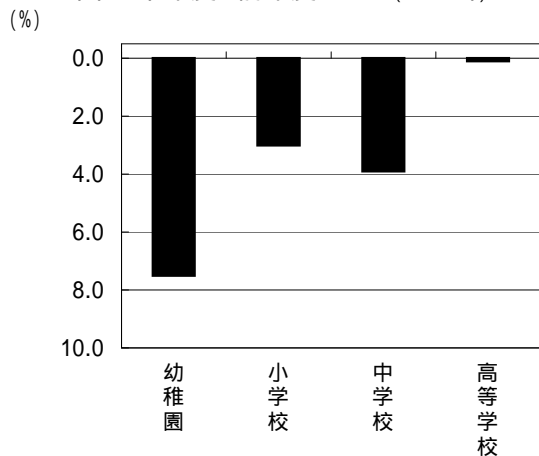
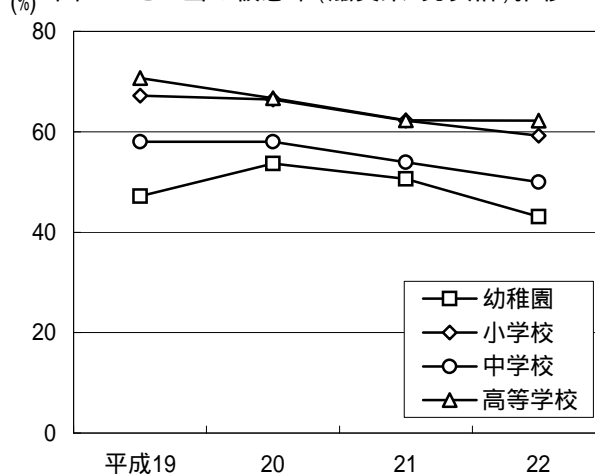


図10 むし歯の被患率(滋賀県・男女計)推移



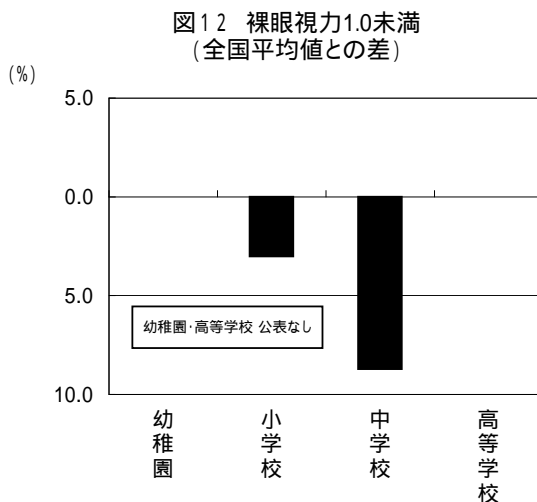
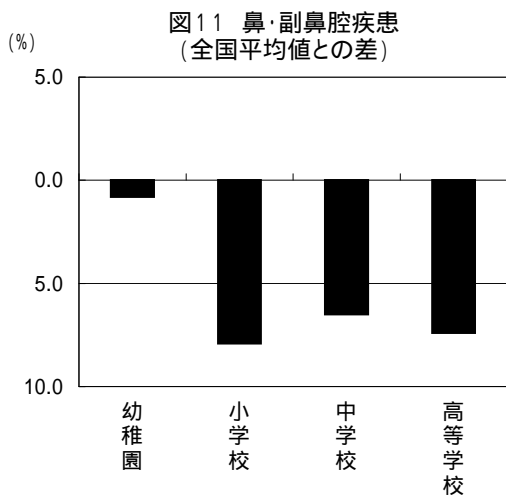


表1 年齢別・男女別体格の平均値

| 学校種別 | 学年 | 年齢 | 男子 | | | 女子 | | |
|------|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 身長 (cm) | 体重 (kg) | 座高 (cm) | 身長 (cm) | 体重 (kg) | 座高 (cm) |
| 幼稚園 | | 5歳 | 111.0 | 18.9 | 62.3 | 109.6 | 18.3 | 61.4 |
| 小学校 | 1年生 | 6歳 | 116.8 | 21.2 | 65.0 | 115.8 | 20.9 | 64.5 |
| | 2年生 | 7歳 | 122.5 | 23.9 | 67.6 | 121.4 | 23.1 | 67.1 |
| | 3年生 | 8歳 | 128.3 | 27.0 | 70.4 | 127.8 | 26.5 | 70.1 |
| | 4年生 | 9歳 | 134.0 | 30.3 | 72.7 | 133.1 | 29.3 | 72.6 |
| | 5年生 | 10歳 | 139.1 | 34.0 | 75.0 | 140.5 | 33.7 | 75.9 |
| | 6年生 | 11歳 | 145.1 | 37.2 | 77.6 | 146.7 | 38.2 | 79.1 |
| 中学校 | 1年生 | 12歳 | 152.0 | 42.7 | 81.1 | 152.0 | 43.3 | 82.3 |
| | 2年生 | 13歳 | 159.9 | 48.6 | 85.1 | 155.2 | 46.4 | 83.9 |
| | 3年生 | 14歳 | 165.7 | 54.3 | 88.4 | 157.2 | 49.3 | 85.0 |
| 高等学校 | 1年生 | 15歳 | 169.1 | 59.1 | 90.6 | 157.2 | 50.9 | 85.5 |
| | 2年生 | 16歳 | 170.3 | 60.4 | 91.8 | 158.0 | 52.3 | 86.0 |
| | 3年生 | 17歳 | 171.4 | 62.2 | 92.4 | 158.3 | 52.7 | 86.0 |

(注)「」印は、記録が残っている昭和30年度以降で、過去最高と同数値となったものです。

表2 滋賀県の主な疾病・異常の推移および全国平均値(男女計)

(単位: %)

| 学校種別 | むし歯(う歯) | | | 耳疾患 | | | 鼻・副鼻腔疾患 | | |
|------|---------|------|----------|------|------|----------|-----------|------|----------|
| | 22年度 | 21年度 | 22年度(全国) | 22年度 | 21年度 | 22年度(全国) | 22年度 | 21年度 | 22年度(全国) |
| 幼稚園 | 43.1 | 50.6 | 46.1 | 3.1 | 4.3 | 3.4 | 2.7 | 1.9 | 3.5 |
| 小学校 | 59.2 | 62.2 | 59.6 | 3.5 | 2.9 | 5.4 | 3.8 | 5.0 | 11.7 |
| 中学校 | 50.0 | 53.9 | 50.6 | 1.9 | 2.3 | 3.6 | 4.2 | 6.2 | 10.7 |
| 高等学校 | 62.2 | 62.3 | 60.0 | 0.1 | 0.1 | 1.6 | 1.1 | 0.7 | 8.5 |
| 学校種別 | 蛋白検出の者 | | | ぜん息 | | | 裸眼視力1.0未満 | | |
| | 22年度 | 21年度 | 22年度(全国) | 22年度 | 21年度 | 22年度(全国) | 22年度 | 21年度 | 22年度(全国) |
| 幼稚園 | 0.2 | 0.1 | 1.0 | 2.7 | 1.2 | 2.8 | X | x | 26.4 |
| 小学校 | 0.4 | 0.3 | 0.8 | 2.3 | 2.2 | 4.2 | 26.9 | 28.4 | 29.9 |
| 中学校 | 2.1 | 2.1 | 2.6 | 1.6 | 1.3 | 3.0 | 44.0 | 47.7 | 52.7 |
| 高等学校 | 2.3 | 2.9 | 2.8 | 1.5 | 0.9 | 2.1 | X | 40.5 | 55.6 |

(注)「x」は、回答校(園)が少ないため、公表していません。

***利用上の注意**

調査の対象

調査の範囲は、幼稚園、小学校、中学校および高等学校のうち、調査実施校(園)に指定された151校(園)に在籍する幼児(5歳児のみ)、児童および生徒を調査の対象者にしています。

なお、年齢は平成22年4月1日現在の満年齢です。